

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公開番号】特開2011-65712(P2011-65712A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-215652(P2009-215652)

【国際特許分類】

G 11 B 33/08 (2006.01)

G 01 D 5/14 (2006.01)

F 16 F 15/02 (2006.01)

【F I】

G 11 B 33/08 E

G 01 D 5/14 H

F 16 F 15/02 C

F 16 F 15/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着磁方向が逆転し、当該着磁方向に垂直な方向に隣接した2つの領域を持つ磁石と、前記2つの領域の境界の部分で前記着磁方向から前記磁石を挟んで配置される1組の磁気感応素子と

を有し、

前記磁気感応素子は、前記磁石との間に所定の隙間を持って配置され、

前記1組の磁気感応素子は、前記磁気感応素子どうしの間隔を維持しながら前記磁石に対して前記着磁方向と垂直な平面上で移動し、

前記1組の磁気感応素子の検出出力を基に前記1組の磁気感応素子と前記磁石との前記着磁方向と垂直な平面上の前記境界による境界線に垂直な方向の相対位置の変化を検出する相対位置検出器。

【請求項2】

前記相対位置は、2つの前記磁気感応素子の検出出力の平均値または加算値を基に検出する請求項1に記載の相対位置検出器。

【請求項3】

請求項1または2に記載の相対位置検出器を備えた制振装置。

【請求項4】

請求項3に記載の制振装置を備えたディスク装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この発明に係る相対位置検出器は、着磁方向が逆転し、当該着磁方向に垂直な方向に隣接した2つの領域を持つ磁石と、前記2つの領域の境界の部分で前記着磁方向から前記磁石を挟んで配置される1組の磁気感応素子とを有し、前記磁気感応素子は、前記磁石との間に所定の隙間を持って配置され、前記1組の磁気感応素子は、前記磁気感応素子どうしの間隔を維持しながら前記磁石に対して前記着磁方向と垂直な平面上で移動し、前記1組の磁気感応素子の検出出力を基に前記1組の磁気感応素子と前記磁石との前記着磁方向と垂直な平面上の前記境界による境界線に垂直な方向の相対位置の変化を検出するものである。